

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ポピンズナーサリースクール西五反田
所在地	東京都品川区西五反田8-10-8

1 活動のテーマ

「音」～世界の音楽

<テーマの設定理由>

身近な生活の中や新たな環境の中にある「音」を見つけたり感じたり知る事が出来る。
音や楽器を通して、様々な文化がある事を知り、世界や地方へ目を向ける力を育む。
様々な音やリズムと一緒に奏でる事を通して、人と関わり合う楽しさを知る。

2 活動スケジュール

2026年3月9日 15:30～16:15

対象児：5歳児クラス13名、4歳児クラス12名

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

図鑑「音楽」など。
世界の楽器（講師持ち込み）ジャンベ、マラカス、アゴゴ、チャフチャス、ソング
ロアン、シンエイエ、クラップスティック、レインスティック、ディジュリドゥ、
プロジェクター、PC、スピーカー
5歳児が制作した手作りマラカス
園内にある様々な楽器（タンバリン、鈴、木琴、鉄琴、ピアノカ、大太鼓）

4 探究活動の実践

<活動の内容>

講師：七海 雷児さん

壁に映し出された世界地図を見ながら、言われた国名の場所を当てるクイズをした。その国の動物などにまつわるクイズをしたり、その国に親しみをもてる様な流れだった。

その場所にまつわる音楽や楽器を聴く。実際に目の前で鳴らしているのを聴いたり、お子様が楽器を手にとってみた。

「♪4拍子 It 's a small world」

4歳児は鈴、5歳児タンバリンに合わせて同じリズムを奏でた。

「♪3拍子 エーデルワイス」

「♪2拍子 トルコ行進曲」音楽に合わせて、世界の楽器を各々合奏をした。

※4歳児は卵シェイカー、5歳児は各々世界の楽器を使用して、合奏をした。

「♪とうきょうおんど」

「♪スーパーカリフラジリスティックエキスペアリードージャス」に合わせて、4歳児も世界の楽器を使用して、合奏した。

最後に、もう一度「♪スーパーカリフラジリスティックエキスペアリードージャス」にて、5歳児は自分たちが手作りしたマラカスをもって合奏をした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・知っている国が出題すると、嬉しそうに国名を発言し当てようと頑張る姿が見られた。

・オーストラリアの音楽を聴くと、低い音に「こわい」と少し怖がるお子様がいた。触りたいと意欲的な姿もあり、笑顔で触る4歳児のお子様もいた。

5歳児は、様々な様子が見られた。ディジュリドゥを手にとると「どうやってなるの?」「ここに口をつけるんじゃない?」「ふくんじゃない?」と考えたり、柄に興味津々でデコボコを指先でなぞってみたり、

「向こう側みえるね」とお友だちと端と端を持ち、覗き合う姿があった。

・レインスティックをお友だちと二人同じものを手にして、

お互いに声をかけるのではなく、目を見合わせて、二人でゆっくりゆっくり動かし方を合わせ、リズムを合わせて鳴らし奏でる姿が見られた。



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・知っている国が出たり、クイズを楽しみながら、内容に引き込まれていく様子が見られた。
「やってみよう」という声掛けに、躊躇したり嫌だという素振りをみせず、とにかく前向きに楽器を鳴らす事を楽しむ姿が見られた。
初めは音を出すのが楽しくなりすぎて、講師の話を受けなかったお子様もいた。
拍子の違う音楽合わせて鳴らす際には、2曲目位から「音を聴いて鳴らす」ことを意識して、自然と拍子の取り方は合っていた。
講師から言われた訳ではないが「皆で合わせる」という事が自然にでき、その時間の共有を楽しんでいた。

音楽は、明確な言葉はならず、どこの国の楽器だという区別もなく、一緒に奏でる事を楽しめることを、お子様達の姿から大人も改めて学んだ機会となった。